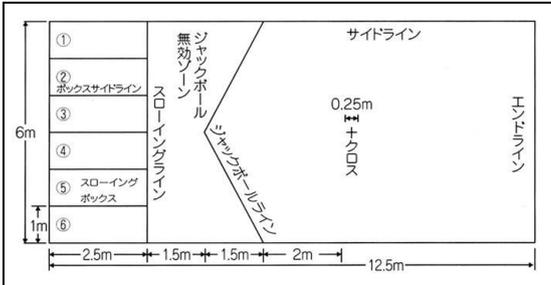


ボ ッ チ ャ

概要 重度脳性麻痺者もしくは、同程度の四肢重度機能障がい者のために、ヨーロッパで考案されたスポーツ。パラリンピックの正式種目になっている。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青それぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競う。



対 象				場 所				時 期			
小学校高学年以上				体育館				通年			
期待される活動の効果											
思考力	判断力	表現力	コミュニケーション能力	体力	生命の尊重	感動する心	知識・技能	協調性	主体性	問題解決能力	課題発見能力
	○		○				○			○	
活動人数 及び 時間						準 備 物					
○1人対1人（各人持ちボール6個ずつ） 2人対2人（各人持ちボール3個ずつ） 3人対3人（同2個ずつ）が基本。 6人対6人でも可能。 ○1エンド10分程度						【青年の家で準備できる用具等】 ○ボッチャセット（3セット） ○簡易メジャー ○スコアシート 【団体に準備していただくもの】 ○筆記用具					

【競技方法】

- ①コイントスやじゃんけんで先攻チームを決める。
- ②先攻チームの1人がジャックボールをコート内に投げる。
- ③先攻チームはジャックボールをめがけてボールを投げる。
- ④後攻のチームは先攻のチームよりジャックボールに近くまで投げ続ける。近くに止まったらチーム交代となり、同様に投げ続ける。
- ⑤どちらかのチームの持ちボールがなくなったら他のチームもなくなるまで投げる。両チームのボールがなくなった時点で1エンド終了。

- ※ボールをぶつけて相手のボールを動かすことができる。
- ※ボールをジャックボールにぶつけてジャックボールの位置をずらすこともできる。

【得点】

- 得点はジャックボールに1番近いボールを投げた側が得る。負けた側の1番近いボールより内側にあるボールの個数が得点になる。

【活動の留意点】

- ボールの握り方・投げ方を確認する。
- ゲーム中はコートの中に入らない。

【活動のオススメポイント】

- 老若男女、障がいの有る無しにかかわらず、すべての人が競い合えるスポーツ。



